

はていはてい
HATI-HATI



HATI-HATIはインドネシア語で相手を思いやる時に使うやさしいことばです。

成人式を迎えました

実習生の2人が成人式に振袖を着て、地域の催しに参加しました。朝早くから、受入れ施設の方々に着付けやメイクをしてもらいました。インドネシアでは、成人の祝いはないそうです。とてもいい経験になったと喜んでいました。



地域のつながりを作っていくこと

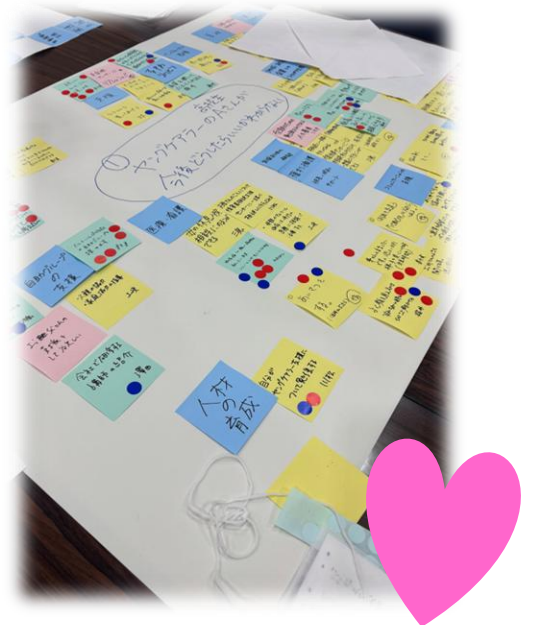
公益社団法人 트레이ディングケア 代表理事 新美 純子

1月25日（土）に実習生の受け入れ施設でもある共和病院様が主催する「第4回できることもちよりワークショップ」に参加をしてきました。このワークショップは、参加者一人ひとりが「できること」を「もちよる」ことで、「だれ一人取り残さない地域」の実現を目的に開催されています。

コロナが流行する前にも参加したことがあり、とても楽しく、様々な人たちとつながりを持つことができました。今回も参加し、共和病院様のある大府市全域から、たくさんの方が参加をされることがわかりました。そして、会場内は笑いと熱気にあふれていました。

内容は、地域に起こりうる事例から、それぞれができることを付箋に書いたり、意見を聞いたりしながら、できることをグルーピングしていきます。グループ内でできないことは、他のグループに助けを求めながら、支援のあり方を考えていきます。一人ひとりの力は微力でも、たくさんの人とつながることで、支援は重層的になり、そのつながりがまた、新たなソリューションを生む。気が付けば2時間半、あっという間でした。

私たちの地域でも、こうした取り組みをやって、重層的なつながりができたらいいなあと感じたワークショップでした。



付箋には、それぞれの支援への思いがたくさん溢れていました。

今月のやさしい日本語 日本語教師 鶴見陽子 ～実習生と日本の食事～

先日、入国後講習において「ご飯を作ろう」と「食事の介護」を実施しました。献立は「照り焼きチキン、ほうれん草のピーナッツ和え、卵焼き、味噌汁、ご飯」でした。日本の料理には「砂糖」が使われることが多く、実習生は卵焼きや肉料理に砂糖を使うことに驚いていました。「日本の料理は甘くて薄い」「インドネシアの料理は辛くて濃い」と話していました。また、食事のマナーにも様々な違いがあります。例えば、インドネシアでは食器を持って食べません。そのため、食事介助の時もお皿を持たずに介助していました。私たちは文化の違いを意識しながら、日本のマナーを一つ一つ伝えていく必要があります。

「食事の介護」の練習では、飲み物に「とろみ」を付けて飲む体験もしました。インドネシアではあまり一般的ではないようで、飲み物に「とろみ」が付くことに驚いていました。また、頸部後屈しながら食べてみたり、食事介助されるとどのような感覚か体験してもらいました。「首を上に向けて食べると怖い」「もっとゆっくりしてほしい」「わたしなら声かけをして優しく食べさせてほしい」などの感想がありました。

学びは体験に裏付けされます。実習生には体験活動を通して、問題発見や問題解決能力を育成していくようにサポートしていきたいと考えています。



ベトナム人の楽しいお話 ～日本の生活の中で気づいたこと～

私だけでなく、多くのベトナム人が日本に来たとき、日本人はよく一人で行動していて寂しそうだと感じます。しかし、実際に日本人と関わる中で、それが大きな誤解であることに気づきました。日本で登山を体験した際、すれ違った多くの日本人が一人で登山をしていることに気づきました。最初は、一人で行動するのは私にとって寂しいことなので、少し気の毒に思えました。しかし、最近自宅から職場まで毎日歩くことを始めたことで、少しずつその理由がわかるようになりました。

初めはただ疲れるだけでしたが、次第に「目的地に着くこと」を気にせず、歩く時間を楽しみ、人生について考えるようになりました。そして、一人で過ごすことで小さな目標を達成したときの喜びや幸せを感じるようになりました。幸せは必ずしも賑やかさや多くの人がいることではなく、日常の中のささやかな瞬間にあることを学びました。

日本人は寂しいのではなく、自分なりの方法で静かに幸せを楽しんでいます。このことは日本に来た多くのベトナム人、そして私自身が学んだ日本の文化です。

ジウ



つながつながる楽しい話～クラシック音楽の本を読みました～



最近、クラシック音楽の本を読みました。私はホルンを演奏するので音楽にとっても興味があります。クラシック音楽はヨーロッパで発展した音楽ですが、日本でもよく耳にしたり演奏したりする機会があります。クラシック音楽は難しくてよくわからない、と思うかもしれませんが、実は現代のポップ音楽もクラシック音楽が発展してできたため、クラシック音楽は必要不可欠です。

クラシック音楽について勉強すると、その曲がつけられた時代背景やその作曲家の人生なども学ぶことができます。最初は宗教活動のために作られた音楽が発展し、楽譜が生まれ、宮廷で貴族の為に演奏されるようになり、次第に娯楽として音楽が使用されるようになって今の音楽があります。そして今後も様々な音楽がつけられていき、人々を楽しませてくれるでしょう。（中川）

編集後記

Instagram
はじめました！



@TSUNAGU_TAKAHAMA

facebook
最新情報は
こちら



地元高校生が企画した「タツヲやき」を一緒に作りました。普段はあんこが入っていますが、今回は「つなぐ」というテーマのもと、インドネシアのチョコレートとナッツ、ベトナムのココナッツと緑豆、ブラジルの鶏ミンチとチーズのあんを用意しました。高校生たちは初めての味に驚き、笑顔で楽しんでいました。みんなで楽しく作り、和気あいあいとした雰囲気がとてもほっこりしました😊上野

公益社団法人
トレイディングケア
〒444-1303
愛知県高浜市小池町6-5-6
TEL 0566-57-7700
FAX 0566-55-1305

日・月・祝日はお休みです。